

以下、本文-----

「定型発達児におけるしゃがみ込み動作と身体機能との 関連性」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究は2018年1月28日～2020年3月31日の期間に共同研究施設である愛知県三河青い鳥医療療育センターで開催された健診事業に参加された方を対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

<目的>

近年、児童の運動器やスポーツ障害の問題が深刻化し、将来的な口コモティブシンドローム予備軍が指摘されています。それに伴い、学校における運動器検診が見直され、約8%の児童が運動器の問題を抱えているという報告もあります。運動器検診の検査項目の1つであるしゃがみ込み動作について、しゃがみ込み動作ができない原因は十分に解明されていません。そこで、本研究は、しゃがみ込み動作と身体機能の関連性を明らかにすることを目的としています。しゃがみ込み動作と身体機能の関連性が明らかになることで、しゃがみ込み動作ができない児童に対する適切なアプローチを提案できる可能性があります。

<方法>

しゃがみ込み動作は、閉脚立位で上肢を前方に挙上し、踵が離床することなく膝関節が完全に屈曲するところまでしゃがみ込みます。また、股関節・膝関節・足関節の可動域を測定します。三次元歩行分析により、歩行中の膝関節・足関節の角度を評価します。

<研究期間>

実施承認日から2020年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

評価項目は、股関節・膝関節・足関節の可動域、立ち上がりテスト、2ステップテスト、歩行中の膝関節・足関節の関節角度等です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内
で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

連絡先：

〔組織名〕名古屋大学医学部保健学科 事務統括課 庶務係（大幸キャンパス）

住所：〒461-8673 愛知県名古屋市東区大幸南一丁目1番20号

電話：052-719-1504

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻理学療法学分野

教授 杉浦英志

研究分担者：

名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻理学療法学分野

博士前期課程 濱部 優

-----以上